

「通り名」で雪浦の魅力をPR

長崎県西海市雪浦は、西彼杵半島の西部に位置し、雪浦川や角力灘(東シナ海)、長浦岳などの豊かな自然と美しい風景に囲まれた地域です。また、夕日や教会、橋をテーマにした風景街道「ながさきサンセット・オーシャンロード」が走っており、美しい雪浦をPRすべく、地域住民が様々な活動に取り組んでいる地域でもあります。

毎年GWに開催される「雪浦ウィーク」は、訪れる側、迎える側、双方がともに楽しむ、顔の見える交流をする催しです。この地域回遊型イベント「雪浦ウィーク」は、長崎さるく博のお手本になったとも言われており、観光客も年々増えています。そこで、観光客に町の歴史や魅力を知っていただき、町歩きを楽しんでいただくことを目的に「通り名」を実施しました。

すべてが手づくりの雪浦「通り名」プロジェクト



▲ワークショップの開催

歴史の掘り起こし、通り名、起終点、地域への周知などについて話し合いました。



▲距離測定、道標の設置協力依頼

道標を民家の壁や塀などに設置することになり、地域の方への設置協力依頼を行いました。また、道標の製作に向け、距離を測定。



▲道標の製作 (写真左)

地域の皆さんが木材を加工して土台を作り、雪浦在住の画家タナカタケシさんが文字を描きました。



◀道標の設置 (写真右)

民家の壁や塀へ取り付けたり、杭を打ったりして、全て地域住民が取り付けました。



◀▲道標の設置完了・マップの完成

今回のプロジェクトで、15の通りに名前が付き、道標や案内板など約50枚が設置されました。

また、「通り名」と番号を記載したまち歩きマップも完成。こちらもタナカタケシさんのデザインです。

↑ [クリックで PDF ファイルがダウンロードできます。](#)